



2020年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月9日

上場会社名 黒谷株式会社
 コード番号 3168 URL <http://www.kurotani.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒谷 純久

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 井上 亮一

TEL 0766-84-0001

定時株主総会開催予定日 2020年11月26日

配当支払開始予定日

2020年11月27日

有価証券報告書提出予定日 2020年11月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期の連結業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	42,752	15.6	646		561		378	
2019年8月期	50,670	10.8	244		289		230	

(注) 包括利益 2020年8月期 408百万円 (%) 2019年8月期 334百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	%	%	%
2020年8月期	26.71	5.1	3.2	1.5
2019年8月期	16.23			

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 4百万円 2019年8月期 3百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	16,735	7,546	45.1	532.52
2019年8月期	17,832	7,340	41.2	518.76

(参考) 自己資本 2020年8月期 7,546百万円 2019年8月期 7,340百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	1,500	97	1,318	1,433
2019年8月期	49	402	282	1,358

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期		7.50		7.50	15.00	212		2.9
2020年8月期		7.50		7.50	15.00	212	56.2	2.8
2021年8月期(予想)		7.50		7.50	15.00		81.1	

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,214	2.8	232	37.5	196	46.5	137	41.7	9.72
通期	42,280	1.1	438	32.2	373	33.5	262	30.7	18.50

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期	14,337,200 株	2019年8月期	14,337,200 株
期末自己株式数	2020年8月期	165,990 株	2019年8月期	187,790 株
期中平均株式数	2020年8月期	14,163,059 株	2019年8月期	14,208,810 株

(参考)個別業績の概要

2020年8月期の個別業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	42,752	15.6	644		564		381	
2019年8月期	50,670	10.8	263		313		250	

	1株当たり当期純利益
	円 銭
2020年8月期	26.91
2019年8月期	17.65

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年8月期	16,518		7,507		45.4		529.74	
2019年8月期	17,357		7,297		42.0		515.73	

(参考) 自己資本 2020年8月期 7,507百万円 2019年8月期 7,297百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により上記予想値と異なる場合があります。

業績予想の前提条件等については、【添付資料】「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
役員の異動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く外部環境は、前年度からの懸念要因であった米中貿易摩擦問題や英国の欧州連合離脱といった問題に目途がついたことから世界経済の底堅い成長が見込まれていました。しかしながら、第3四半期に入って新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで大量失業、都市封鎖、物流遮断等により世界経済は急減速し、マイナス成長懸念から金融市場はじめ各市場とも大きく下落しました。一方で世界主要国は、経済危機回避のために金融政策や財政政策をはじめ、あらゆる経済復興政策を実施したことから先行き期待感が強まり、市場と実体経済との乖離はみられるものの、緩やかながら回復の動きとなりました。

このような状況から、当社グループの主力取扱商品価格に影響を及ぼす銅価格は、第2四半期中旬までは緩やかな上昇の動きとなったものの、新型コロナウイルスの影響による需要減への思惑から反落し、第3四半期にはロンドン金属取引所銅3カ月先物価格は4年2カ月ぶりの安値となる4,371ドルまで下落しました。しかしその後は政策期待や新型コロナウイルスによる鉱山閉鎖等から供給懸念が増大し、反転大幅上昇となり年度末には2年2カ月ぶりの高値となる6,709.5ドルをつけ、市況環境は大幅に好転しました。

このような中、当連結会計年度の販売数量は製錬会社の炉修工事や伸銅会社の生産品目の影響からスクラップを中心に減少し、また年度平均価格（銅建値ベース）も前年度比7.3%低く推移しました。一方で上述の市況環境の影響により在庫評価益の増加や良好な仕入環境から利鞘は拡大しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は427億52百万円（前連結会計年度比15.6%減）、営業利益6億46百万円（前連結会計年度は営業損失2億44百万円）、経常利益5億61百万円（前連結会計年度は経常損失2億89百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億78百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失2億30百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（非鉄金属事業）

非鉄金属事業の主力取扱品である銅の期中平均円ベースCash価格が前年度比7.5%低く推移したことやインゴット、スクラップの販売量も前年度比6.8%減で推移したことから当連結会計年度の売上高は424億44百万円（前年度比15.6%減）となりました。

品目別では、インゴット売上高は143億39百万円（前年度比10.2%減）、スクラップ売上高は279億96百万円（同18.0%減）、その他売上高は1億8百万円（同16.9%減）となりました。

（美術工芸事業）

美術工芸事業では、新型コロナウイルスの感染拡大による百貨店などの休業により需要が急減したため、当連結会計年度の売上高は3億8百万円（前年度比24.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は137億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億円減少いたしました。その主な要因といたしましては、売上債権が4億28百万円、たな卸資産が7億34百万円減少し、前渡金が2億61百万円増加したことによるものであります。固定資産は30億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、有形固定資産が52百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は167億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億96百万円減少いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は71億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億45百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、仕入債務が4億73百万円、短期借入金が11億65百万円減少し、未払法人税等が1億15百万円増加したことによるものであります。固定負債は20億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、長期借入金が35百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は91億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億2百万円減少いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は75億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する当期純利益3億78百万円、剰余金の配当2億12百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.1%（前連結会計年度末は41.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は14億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は15億円（前年は49百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益5億61百万円、売上債権の減少4億28百万円、たな卸資産の減少7億34百万円などの収入に対し、仕入債務の減少4億73百万円、前渡金の減少2億61百万円などの支出が発生したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は97百万円（前年は4億2百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得1億37百万円などの支出が発生したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は13億18百万円（前年は2億82百万円の収入）となりました。これは主に長期借入金の借入14億円による収入に対し、長期借入金の返済13億49百万円及び短期借入金の純減額11億56百万円並びに配当金の支払2億11百万円の支出が発生したことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期
自己資本比率 (%)	46.0	44.7	44.2	41.2	45.1
時価ベースの 自己資本比率 (%)	22.0	65.0	44.8	34.2	41.6
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	4.9
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	22.8

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注1) 連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

(注5) 2016年8月期から2019年8月期までの各期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス発生後、世界主要国は大規模な金融緩和や財政支出により潤沢な資金供給を実施、また各種支援金・給付金支給など政策総動員で世界経済の危機からの早期回復を目指した結果、持ち直しの動きとなっております。

しかしながら、新型コロナウイルス拡大を防ぐ抜本的な解決策はまだ見いだせておらず、第2波、第3波の可能性があることや米中の覇権主義による対立激化、またコロナ後の経済・産業構造の変化による非鉄金属業界への影響等、波乱要因、不安定要因が多く、完全回復までには相応の時間が必要と考えております。

従いまして、年度前半は政策効果から緩やかな回復が見込まれるものの、年度後半にかけては大量の資金供給の影響による過度な市場の期待が剥がれ、実体経済との乖離が縮小する動きとなると考えております。

以上のことから業績の見通しの前提条件は下記を想定しております。

- a. 為替レート (T T M) : 105円
- b. 銅価格 : 6,000ドル
- c. ニッケル価格 : 13,600ドル
- d. 銅建値 : 676.00円/kg

以上の見通しを踏まえ、翌連結会計年度(2021年8月期)の連結業績見通しにつきましては、連結売上高は422億80百万円(前年度比1.1%減)、営業利益は4億38百万円(同32.2%減)、経常利益は3億73百万円(同33.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2億62百万円(同30.7%減)を予想しております。

当該予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化等により業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、会計基準につきましては日本基準を適用する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,015,627	2,090,271
受取手形及び売掛金	4,804,811	4,413,758
電子記録債権	859,855	822,771
商品及び製品	453,509	720,335
仕掛品	136,972	112,545
原材料及び貯蔵品	4,926,642	3,949,709
前渡金	526,236	788,068
関係会社短期貸付金	52,200	—
未収消費税等	859,139	739,145
その他	85,269	83,171
流動資産合計	14,720,265	13,719,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	364,521	382,307
機械装置及び運搬具（純額）	282,228	361,312
土地	1,521,121	1,521,121
その他（純額）	236,030	86,845
有形固定資産合計	2,403,901	2,351,587
無形固定資産		
ソフトウェア	11,154	10,476
その他	1,787	1,787
無形固定資産合計	12,942	12,264
投資その他の資産		
投資有価証券	532,044	566,824
繰延税金資産	151,204	73,637
その他	11,988	11,823
投資その他の資産合計	695,236	652,285
固定資産合計	3,112,081	3,016,137
資産合計	17,832,346	16,735,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,282,795	739,430
電子記録債務	246,065	316,234
短期借入金	5,458,140	4,292,880
1年内返済予定の長期借入金	1,160,580	1,175,012
未払金	274,214	364,397
未払法人税等	10,317	125,765
賞与引当金	21,398	33,403
その他	35,714	96,275
流動負債合計	8,489,226	7,143,398
固定負債		
長期借入金	1,900,334	1,935,926
退職給付に係る負債	102,600	110,096
固定負債合計	2,002,934	2,046,022
負債合計	10,492,160	9,189,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	685,821	685,396
利益剰余金	5,680,763	5,846,661
自己株式	△88,616	△78,329
株主資本合計	7,277,967	7,453,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,861	22,386
為替換算調整勘定	71,079	70,378
その他の包括利益累計額合計	62,217	92,765
純資産合計	7,340,185	7,546,494
負債純資産合計	17,832,346	16,735,915

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	50,670,151	42,752,780
売上原価	49,664,893	40,831,344
売上総利益	1,005,258	1,921,436
販売費及び一般管理費	1,249,789	1,274,611
営業利益又は営業損失(△)	△244,531	646,824
営業外収益		
受取利息	2,136	846
受取配当金	10,732	10,004
持分法による投資利益	3,940	—
デリバティブ運用益	1,172	—
受取保険金	30,008	2,018
違約金収入	—	—
その他	7,110	6,578
営業外収益合計	55,101	19,447
営業外費用		
支払利息	87,664	65,480
為替差損	3,715	17,591
持分法による投資損失	—	4,851
デリバティブ運用損	—	11,038
その他	9,010	5,766
営業外費用合計	100,391	104,728
経常利益又は経常損失(△)	△289,820	561,543
特別損失		
投資有価証券評価損	22,855	—
特別損失合計	22,855	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△312,675	561,543
法人税、住民税及び事業税	8,043	106,105
法人税等調整額	△90,102	77,134
法人税等合計	△82,059	183,240
当期純利益又は当期純損失(△)	△230,616	378,302
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△230,616	378,302

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△230,616	378,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107,392	31,248
為替換算調整勘定	△5,911	△120
持分法適用会社に対する持分相当額	9,503	△580
その他の包括利益合計	△103,800	30,547
包括利益	△334,417	408,850
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△334,417	408,850
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	685,855	6,125,027	△75	7,810,806
当期変動額					
剰余金の配当			△213,647		△213,647
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△230,616		△230,616
自己株式の取得				△94,911	△94,911
自己株式の処分		△33		6,371	6,337
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△33	△444,263	△88,540	△532,838
当期末残高	1,000,000	685,821	5,680,763	△88,616	7,277,967

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	98,530	67,487	166,018	7,976,824
当期変動額				
剰余金の配当				△213,647
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△230,616
自己株式の取得				△94,911
自己株式の処分				6,337
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△107,392	3,591	△103,800	△103,800
当期変動額合計	△107,392	3,591	△103,800	△636,638
当期末残高	△8,861	71,079	62,217	7,340,185

当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	685,821	5,680,763	△88,616	7,277,967
当期変動額					
剰余金の配当			△212,404		△212,404
親会社株主に帰属する 当期純利益			378,302		378,302
自己株式の処分		△424		10,287	9,862
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△424	165,897	10,287	175,760
当期末残高	1,000,000	685,396	5,846,661	△78,329	7,453,728

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△8,861	71,079	62,217	7,340,185
当期変動額				
剰余金の配当				△212,404
親会社株主に帰属する 当期純利益				378,302
自己株式の処分				9,862
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	31,248	△700	30,547	30,547
当期変動額合計	31,248	△700	30,547	206,308
当期末残高	22,386	70,378	92,765	7,546,494

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△312,675	561,543
減価償却費	179,204	226,535
受取利息及び受取配当金	△12,869	△10,850
支払利息	87,664	65,480
為替差損益(△は益)	△23,712	516
持分法による投資損益(△は益)	△3,940	4,851
投資有価証券評価損益(△は益)	22,855	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,264,352	428,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,859,372	734,533
仕入債務の増減額(△は減少)	△105,837	△473,987
前渡金の増減額(△は増加)	895,625	△261,832
その他	△190,712	289,316
小計	△59,418	1,564,976
利息及び配当金の受取額	12,857	11,664
利息の支払額	△86,609	△65,704
法人税等の支払額	△9,421	△10,823
法人税等の還付額	93,445	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△49,146	1,500,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,076,041	△1,064,114
定期預金の払戻による収入	1,075,984	1,064,072
関係会社貸付金の回収による収入	—	53,700
有形固定資産の取得による支出	△386,998	△137,543
無形固定資産の取得による支出	△6,423	△3,580
投資有価証券の取得による支出	△8,177	△8,531
その他	△1,298	△1,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△402,954	△97,844
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	850,000	△1,156,780
長期借入れによる収入	900,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,158,442	△1,349,976
自己株式の取得による支出	△94,911	—
配当金の支払額	△213,711	△211,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	282,934	△1,318,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,523	△9,070
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△190,691	74,589
現金及び現金同等物の期首残高	1,549,375	1,358,684
現金及び現金同等物の期末残高	1,358,684	1,433,274

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、インゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業と美術工芸品の製造・販売を行う美術工芸事業の2つの事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,262,055	408,096	50,670,151	—	50,670,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,521	2,521	△2,521	—
計	50,262,055	410,618	50,672,673	△2,521	50,670,151
セグメント利益又は損失(△)	△274,278	29,747	△244,531	—	△244,531
セグメント資産	13,776,702	920,463	14,697,166	3,135,180	17,832,346
その他の項目					
減価償却費	161,676	17,528	179,204	—	179,204
持分法適用会社への投資額	197,049	—	197,049	—	197,049
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	346,953	7,115	354,068	—	354,068

(注) 1. セグメント資産の調整額3,135,180千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,444,014	308,766	42,752,780	—	42,752,780
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	295	295	△295	—
計	42,444,014	309,061	42,753,075	△295	42,752,780
セグメント利益又は損失(△)	654,235	△7,410	646,824	—	646,824
セグメント資産	12,733,613	971,068	13,704,681	3,031,234	16,735,915
その他の項目					
減価償却費	210,556	15,979	226,535	—	226,535
持分法適用会社への投資額	191,617	—	191,617	—	191,617
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	319,758	1,646	321,405	—	321,405

(注) 1. セグメント資産の調整額3,031,234千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり純資産額	518.76円	532.52円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△16.23円	26.71円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,340,185	7,546,494
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	7,340,185	7,546,494
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	14,149,410	14,171,210

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△230,616	378,302
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△230,616	378,302
普通株式の期中平均株式数(株)	14,208,810	14,163,059

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

- ・新任代表取締役候補

代表取締役専務 黒谷 暁 (現 取締役)

② その他役員の変動

- ・新任取締役候補

取締役 栄森 貞治 (現 非鉄営業部長)